

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 富岡校第1単位

%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	・子どもの人数や状態等状況に合わせて配置を検討している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40%	60%	0%	・定期的な会議により職員の参画する状況は出来ているが、職員全員の参画まで至っていきけるようにしていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60%	40%	0%	・実施はしているが、全保護者等の意向は職員全体が把握していけるようにしていく。
	6 この自己評価表の結果を、事務所の会報やホームページ等で公開しているか	60%	40%	0%	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	40%	60%	0%	・今後業務改善につながるようにしていく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	60%	40%	0%	・内部研修を定期的に行い、外部研修では、ZOOMや会場に足を運び行っている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	60%	40%	0%	・ニーズや課題に対して主観性が出て作成してしまう事がある。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	60%	0%	・標準化されたアセスメントツールの活用を検討していく(ヴァインランド)
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%	0%	・立案に対して担当を決め行う中、個に任せがちな所がある。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	60%	20%	20%	・細やかではないが、支援あり・休日・長期休暇に対する課題をきめ細かく設定していきたい。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	60%	40%	0%	・個別の活動は一部の利用児のみのため、その他の利用児者の個別活動も検討していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%	0%	・支援内容や役割分担をもっと細かく行っていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日の行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	20%	60%	20%	・振り返りが全職員取り組めるようにしていく。現在はそれぞれの気づきを記入している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	80%	20%	0%	・記録は取れているが検証や改善までつながっていない状況をもっと作りたい。
	18 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	0%	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	60%	40%	0%	・基本活動に対して職員間で解釈が統一できているか疑問に感じる部分がある。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画にしているか	60%	40%	0%	・児発管が参画しているが、指導員の参加も出来ると良い。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	60%	40%	0%	・学校と年間計画や行事予定までの情報の共有は出来ていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	40%	60%	0%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0%	80%	20%	・児童発達支援事業所以外の関係機関との情報共有の場を作っていく必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	20%	60%	20%	・前例がない為、卒業する子がいる時に行えるといい・移行する状況に居合わせた事がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	100%	0%	・モニタリング時期に助言を受けている。今期は出来ていないが、開催される研修への参加も行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	40%	60%	・地域との交流の場を増やせるといい・コロナ禍で難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0%	80%	20%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%	0%	・帰りの送迎、連絡ノート、LINEを活用している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	100%	0%	・家庭支援としてののが保護者に対してあるので出来ていない状況がある。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	60%	40%	0%	・支援内容に対して直接口頭で詳しく説明できない部分がある。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	40%	0%	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	60%	40%	・コロナウイルスが蔓延している為、難しい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を警備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	60%	40%	0%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%	0%	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営をしているか	20%	60%	20%	コロナウイルスが蔓延している為、難しい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	80%	20%	0%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	0%	60%	40%	・以前は、消防署と協力し、消防訓練を行っていたが、コロナウイルスが蔓延している為、難しい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60%	40%	0%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	80%	20%	0%	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対策がされているか	40%	60%	0%	・医師の指示書に基づいた対策まで至っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%	0%	